

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	母性援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当教員	中井 京子	実務経験と その関連資格	医療施設にて助産師としての勤務後、助産師教育の経験を有す。			
《授業科目における学習内容》						
<p>新生児の特徴を理解し、胎外生活適応を促進する看護について学ぶ。また、母性看護に必要な看護技術を習得するとともに、正常経過をたどる褥婦に対するウェルネス看護過程の展開を学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>筆記試験、課題提出で総合的に評価する。 筆記試験40%、課題提出60%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業を理解するために予習・復習を行い、自主的に調べ学習をすること。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>専門基礎分野の生体機能学Ⅱ(生殖・発生と老化のしくみ)、専門分野Ⅱの母性援助論Ⅰ・Ⅲの復習をして講義に臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①胎児から新生児への生理的変化と新生児の身体的特徴が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 シラバスを読む(30分) 事後学習 新生児の子宮外適応現象についてまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	新生児の発育・健康状態の評価、新生児の生理・身体的特徴(呼吸・循環・体温)について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	①胎児から新生児への生理的変化と新生児の身体的特徴が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 新生児の生理的黄疸の発生機序について調べる(30分) 事後学習 授業内容をまとめる(30分)	
		各コマにおける授業予定	新生児の生理・身体的特徴(黄疸・消化・神経・成熟徴候・外表所見)について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	②新生児の胎外生活適応を促進するための看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 正常産新生児の出生から退院までの看護について調べる(30分) 事後学習 生後1か月健康診査に向けた退院時の看護についてまとめる(30分)	
		各コマにおける授業予定	胎外生活適応を促進するための看護について学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 産褥期の看護について復習する(30分) 事後学習 講義内容をまとめる。紙上事例を読み込む(30分)	
		各コマにおける授業予定	ウェルネス看護過程の考え方、母性看護過程の展開、記録について学ぶ。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の分類・整理を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の分類・整理を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の分類・整理を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴方法・留意点について調べる(30分) 事後学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴方法・留意点について追加学習する(30分)
		各コマにおける授業予定	新生児の沐浴、更衣、おむつ交換、調乳について、方法・留意点を学ぶ。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 新生児の沐浴実施に向け、方法・留意点についてイメージトレーニングを行なう(30分) 事後学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴実施後の自己評価、所感記入を行なう(30分)
		各コマにおける授業予定	安全・安楽に留意しながら模型を使用し、新生児の沐浴、更衣、おむつ交換を実施する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 全身・生殖器の復古促進のえんじょについて調べる(30分) 事後学習 グループで再検討した看護計画に基づき動けるよう、観察方法・援助方法・保健指導内容について具体的に考える(30分)
		各コマにおける授業予定	個人で行なったアセスメント持ち寄りグループで再検討、退行性変化促進に対する看護計画を立案する。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 グループで再検討した計画に基づき観察・援助・保健指導について具体的に考える(30分) 事後学習 退行性変化促進に対する看護についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで立案した看護計画に基づき、退行性変化促進に対する看護を展開し(ロールプレイング)、実施・結果・評価について記録を行う。		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して分娩期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 分娩第1期の看護について調べる(30分) 事後学習 グループで再検討した看護計画に基づき動けるよう、観察方法・援助方法・保健指導内容について具体的に考える(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで分娩第I期の看護計画を立案する。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して分娩期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 グループで再検討した計画に基づき観察・援助・保健指導について具体的に考える(30分) 事後学習 分娩第I期の援助についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで立案した看護計画に基づき、分娩期の看護を展開し(ロールプレイング)、実施・結果・評価について記録を行う。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 資料を読み、調乳方法、乳房の状態に適した抱き方について調べる(30分) 事後学習 ワークシートに沿って自己評価を行なう。妊婦の外診方法・授乳方法についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	模型を使用し妊婦の観察と授乳の援助を行う。		